

事例 1 グローバルファンドにおける官民連携

2019 年 10 月 18 日(金)の講義にて、国際行政の官民連携に関して「世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド、GF）」を事例に議論を行なう予定です。

1 テーマ

GF におけるパートナーシップ

2 資料

1. 小池浩 (2016). 「開発援助における「パートナーシップ」とガバナンス: 国際保健を事例に」 『横浜国際社会科学研究』 21(3), 155–169. [<https://bit.ly/2ptGW3v>]
2. Friebe, R., Silverman, R., Glassman, A., & Chalkidou, K. (2019). On results reporting and evidentiary standards: spotlight on the global fund. *The Lancet*, 393(10184), 2006–2008.
3. 國井修 (2019). 『世界最強組織のつくり方: 感染症と闘うグローバルファンドの挑戦』, ちくま新書, 第 3 章(抜粋)・第 5 章(抜粋).

3 参考資料

1. 城山英明(2018). 『国際行政論』, 有斐閣, 100–103.
2. グローバルファンド日本委員会 [<http://fgf.jcie.or.jp/>]
3. The Global Fund (2019). Step Up the Fight: Investment Case Sixth Replenishment 2019, 9, 47, 55. [<https://bit.ly/2nRe3y5>] ※数値目標, 成果に注目のこと.

4 論点

1. GF の基本原則とその長所, それに対する批判・問題点を挙げてください. 資料での指摘に限らず, 自分の考えを書いても構いません.
2. 成果の報告に関して, 2018 年から独自の支援事業の成果ではなく, GF が大きく貢献している特定の国の全体の成果を GF の成果報告書に記載する形式へと変更されました.
 - (1) 成果報告を巡る問題 (e.g. 形式, 数値の算出) を説明してください.
 - (2) 上記を踏まえ, パートナーシップの中で何を誰の成果としてどのように報告すべきか, よりよい成果報告を実現するには何をすべきかに関して, あなたの意見を述べてください.

5 提出

- A4 で 1-2 枚程度.
- 城山英明教授[siroyama@j.u-tokyo.ac.jp], Cc: TA 成澤柊子[iragi13@gmail.com]
- レポートのファイル名, 及びメールの件名: 国際行政論 2019 事例 1_氏名
 - レポートの冒頭に, 所属・学籍番号・氏名を記入してください.
- 提出期限: 10 月 15 日(火) 8 時.